

これまでも、これからも 「市民の宝」 敬老乗車証



京都市が「『乗るたびに負担』の制度にする」との考え方を示して5年半。「敬老乗車証は市民の宝」と、高齢者からも、若い人からも制度を守る声が広がっています。
14回の署名提出で、署名は4万筆を超えました。

今年も改悪を許さず、制度を守りました。



「70歳になって敬老乗車証を受け取り、どこへでも出かけることができるようになりました。どんどん元気になり、病院通いも減り、気分上々。一人でも多くの方に、このよこびをつなげていきたい」(左京区・70代)

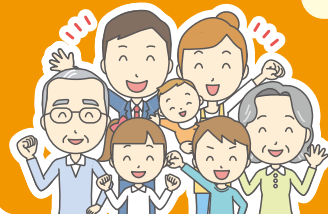
「敬老乗車証はとても有意義」「生活する上では大変重宝する便利な制度」「なくなるということや、使いにくくなるということは控えていただきたい」(社会福祉審議会での発言)



「85才と83才の両親が元気でいられるのは、敬老乗車証のおかげです」(50代)

名古屋市の調査で 敬老乗車証の効果が明らかに

- 1. 社会参加効果** 外出率が3割アップ
- 2. 健康増進効果** 外出1回あたり1400歩増、病気を防ぐ
- 3. 経済効果** 使った予算の2.5倍の経済効果、間接効果は4倍
- 4. 環境効果** 4万人が自動車利用を抑制、6500トンのCO2削減



敬老乗車証制度 **守る** たしかな力

日本共産党京都市議員団は、乗れば乗るほど負担が増える、市民いじめの制度改悪に反対。みなさんと一緒に署名や宣伝に取り組み、議会では「現行制度を守って」「民間バスとの共通化を」「バスをもっと便利に」の声を市長に届けてきました。

**市長は市民の声を聞いて、
改悪方針の撤回を**

